

文学部・文学研究科 タンデム学習プロジェクト ワークショップ



タンデム学習参加者の皆さんへ

海開き、山開きの時期を迎え、いよいよ本格的な夏の到来となりました。

皆様、熱中症には気をつけてお過ごしください。

6月19日(水)に 文法経済学部本館の中庭会議室でタンデム学習プロジェクトのワークショップを行いました。大雨の日でしたが、ワークショップ参加者の皆さんは時間通りにワークショップに参加して雨の音の中でタンデム学習の経験を語り合いました。文学研究科日本語学の青木直子教授は皆さんが困っていることに対してアドバイスをしてくださいました。

ワークショップの時に話し合ったことをまとめてみました。ご参考にいただければ幸いです。タンデム学習、頑張ってください。

タンデム学習プロジェクト・チーム



タンデム学習で行っている学習活動はなに？

- * 日記を書いて直してもらい、日記で取り上げた話題について会話練習をする。
- * テーマを決めてディスカッションする。
- * 好きな本を学びたい言語に翻訳する。
- * 話題になった社会問題について話しあう。
- * 学びたい言語で書かれた雑誌を読んでパートナーに感想を述べる。
- * 発音を訂正してもらおう。
- * レジюмеをチェックしてもらおう。



タンデム学習をやってよかったと思うところはなに？

- * 外国語の環境で1対1で外国語を学べる。
- * 相手がいるので、外国語学習の時間をちゃんと作れる。

- * 相手がいないとできないことができるようになった。
- * 発音や間違いを訂正してもらうことができる。
- * ディスカッションをすることができる。
- * 二人きりの会話練習をすることができる。
- * 教科書の言葉づかいを学ぶのではなく、日常で使われる言語を学べる。
- * 相手は先生ではないので、遠慮せずに気楽に勉強できる。



タンデム学習をやって困ったところとその解決策

- * 文法について細かく質問されてうまく説明できない。

解決策：図書館にある文法書や、インターネットで調べたりする。

文法説明にこだわらず、例文を作ってその文法が使われる場面を理解してもらう。

- * 自分が相手の学習に役立つかわからない。

解決策：時々「役立ってますよ」と伝える。

- * トピックを探すのが難しい/ネタがなくなった。

解決策：お互いに興味を持つ話題。テレビや新聞、雑誌などから話題を取り上げる。

- * 盛り上がったら、時間がついオーバーしてしまう。

- * 予習、復習の時間がない。

解決策：5分くらいでもいいので、話したい話題に関するキーワードを調べて書いておくと、話しやすくなる。

タンデム学習でやった内容を録音し、スマホに入れて歩きながら聞く。

- * リスニング能力を伸ばすのが難しい。

解決策：自分にとってやさしい内容を使い、シャドーイングの練習をする。

単語量を増やすこと。何回も同じ単語を使う。



訂正の仕方

- * 会話を中心にやる場合

会話中、パートナーが間違っても会話をストップさせて訂正をすることをしづらいと思うことが多い。このような場合だったら、間違ったところだけを、リキャスト（＝会話を中止せずに正しい言い方で言い返してあげる。）して、できるだけ会話を中止せずに訂正する。

また、訂正の仕方は学習の目的によって違う。例えば、できるだけたくさん話すことを目的とするなら、会話で意味交換に支障を生じる間違いがなければ、特に訂正しなくていい。しかし、もし間違いをちゃんと訂正してもらいたいとすれば、会

話の中でも間違いがあればすぐ訂正するか、それとも、会話が終わってから訂正するかなど、パートナーに訂正の仕方を確認しておく。会話後の訂正だったら、会話中の間違いをメモして後で直すというやりかたが挙げられる。

* 発音を直す場合

発音のコツを教えることや、発音して手本を見せることをやればいい。

* 書いたものを訂正してもらう

★ パートナーに訂正をしてもらった後、そのまま流れていくのではなく、訂正してくれたところをメモしたり、自分でそれを言うてみるのが大切。そうすることで、訂正してもらった内容を記憶に残せる。



タンデム学習で注意したほうがいいこと

* パートナーに何でも解決してもらおうと思わないほうがいい。

* パートナーに「○○○ができるか」と確認する。



今回のワークショップは役立ったのか

* 今までタンデム学習のやり方を振り返り、よかったところと改善したほうがいいところに気づいた。

* 他の参加者とタンデム学習のやり方をシェアしあって、他の人から新しいアイデアをもらった。

* これからのタンデムで、相手がいないとできないことをやってみる。

* ワークショップの意見交換が役に立つ。

* ワークショップでシャドーイングなどの学習方法を知り、新しい方法を試してみようと思っている。

* だだ会話をするだけでなく、話したいトピックについて何かを書いて、そして訂正してもらったほうが後で復習できる（とわかった）ようにする。